

Inter BEE 音と映像と通信の
International Broadcast Equipment Exhibition プロフェッショナル展

2012.11.14 水 » 16 金 幕張メッセ
Nov. 14(Wed.)-16(Fri.) Makuhari Messe, Japan

主催: **JEITA** 一般社団法人電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

入場券の登録はこちらから Pre-Registration on the Web
音と映像と通信のプロフェッショナル情報サイト
InterBEE online
www.inter-bee.com

© CoFesta 2012



レポート後編

会期: 2012/11/14~16

会場: 幕張メッセ

②-5 4K(など)ソリューション ～”新圧縮コーデック“

高解像度化でデータ量が増えたため、圧縮しないとリアルタイムの収録と保存が厳しい...

The image is a composite. On the left is a photograph of a trade show booth for Panasonic's AVCULTRA. The booth features a large curved wall with the 'AVCULTRA' logo and the slogan 'One codec family fits it all'. Below this, Japanese text reads: 'マスタリング用高画質からネットワーク用の低ビットレートまでカバーする、H.264ベースの新コーデックファミリー'. Various application areas are listed: 'Digital Cinema', 'Broadcast Master', 'News', 'IP Transfer Offline', 'AVC Intra class100', 'AVC Intra class200', 'AVC Long G', 'AVC Proxy', and 'ストリーミング、オフラインに活用'. Several monitors display different video content. On the right is a diagram titled 'AVCULTRAファミリー' (AVCULTRA Family). It shows a vertical stack of codec classes: 'Class4:4:4 12 bit 4:4:4', 'Class200 10 bit 4:2:2 200 Mbps', 'Class100 10 bit 4:2:2 100 Mbps', 'Class50 10 bit 4:2:0 50 Mbps', and 'AVC Long G 10 bit 4:2:2 25 Mbps ~ 50 Mbps'. To the right of these classes are two vertical arrows: an orange one pointing up labeled '高画質' (High Quality) and a blue one pointing down labeled '高効率' (High Efficiency). Between the arrows are boxes representing market requirements ('市場要望'): 'マスタリング、DI、マスター、スポーツマスター' (linked to high quality), '画質重視、スポーツ、ドラマ、ニュース、ポスプロ' (linked to high quality), '低ビットレート、高速転送、小容量' (linked to high efficiency), 'コスト重視、業務用、文教、プライダル' (linked to high efficiency), and 'スピーディー、ニュース速報、オフライン編集、WEBブラウジング用' (linked to high efficiency). At the top, resolution and frame rate options are listed: '4Kx2K', '1080p', '1080i', and '720p'. A red double-headed arrow is between '4Kx2K' and '1080p'. A blue box with the text 'パナソニック' (Panasonic) is overlaid on the diagram.

AVCULTRAファミリー

Class4:4:4
12 bit 4:4:4

Class200
10 bit 4:2:2
200 Mbps

Class100
10 bit 4:2:2
100 Mbps

Class50
10 bit 4:2:0
50 Mbps

AVC Long G
10 bit 4:2:2
25 Mbps ~ 50 Mbps

市場要望

マスタリング
DI、マスター
スポーツマスター

画質重視
スポーツ、ドラマ、
ニュース、ポスプロ

低ビットレート
高速転送
小容量

コスト重視
業務用
文教、プライダル

スピーディー
ニュース速報
オフライン編集
WEBブラウジング用

高画質

高効率

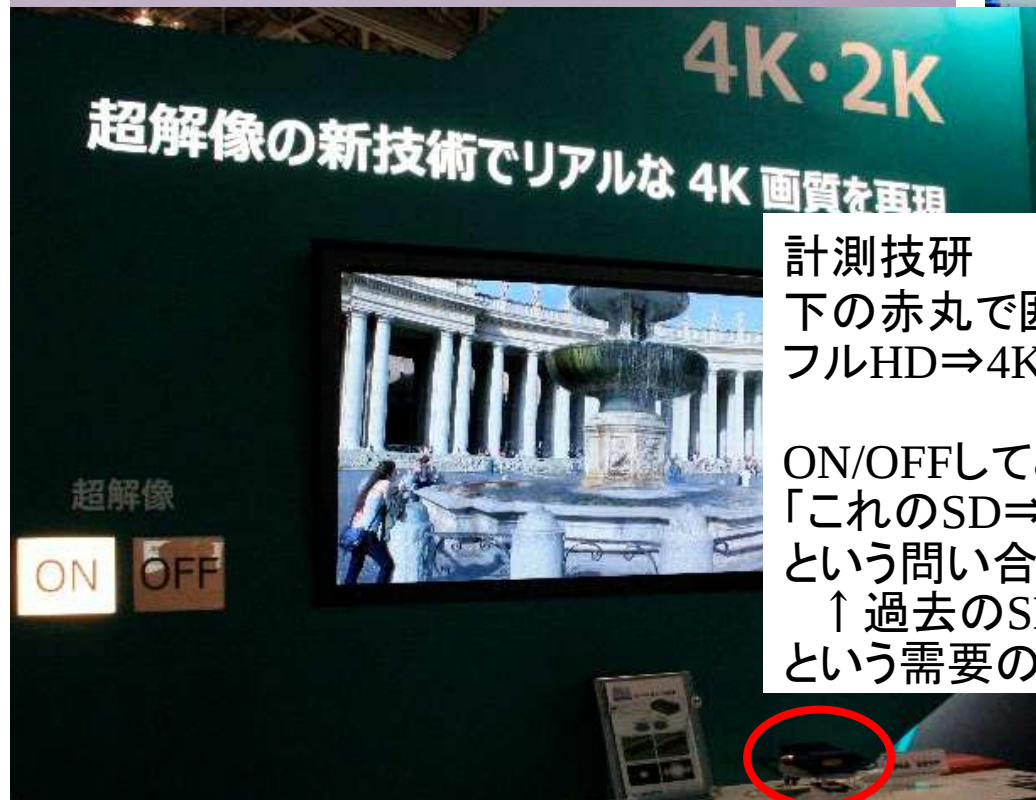
4Kx2K 1080p 1080i 720p

パナソニック

AVCULTRA
用途に応じて圧縮率別にいくつか規格を策定
NABの頃からパナソニックは力を入れて普及させようとしている
普及するか？

その他、ソニーもAVCHD後継に、主に4K用途を想定し“XAVC”という新フォーマットをF55などと共に発表している
AVCHDの時はパナソニックと共同だったが、今回のXAVCは協賛企業にパナの名無し
今回はソニーの単独のよう

②-6 4Kソリューション ～”超解像”



③その他 : GoProなどの小型アクションカムの拡がり

特徴は、広角単焦点レンズに手ぶれ補正に防水ハウジング
iPhone/iPadなどからのWi-Fi越しの操作が可能



interBeeに合わせて発表！？

GoPro Hero3 防水キットの図

この小ささで、¥3~4万で4K15fps動画撮影可能



GoPro使用例

恐らくバイクのタイヤ近傍に装着した絵

他に、サーフィン、スキューバダイビング、スキー、スノボ、マウンテンバイク、モータースポーツ分野に熱烈ファンを持つ



Ceatec ソニーブースより

HDR-AS15

フルHD 広角170° レンズに
超強力電子手ぶれ補正

この他、写真にはないが

Victorからやコンツアーというメーカーからも同コンセプト、同価格帯の製品登場

しかし、この分野の開拓者であるGoProが高解像度化で頭一つリード中

気になるであろうブース その1 ～SONY

新発表カメラじゃんじゃん！ お得意メモリでの囲い込みしまっせ～



新発表のカメラの動作実機を含むステージセット



人口密度は恐らく会場中でNo.1

右上: CineAlta-F65

左中: 新発表PMW-F55

右下: NEX-FS700

左下: ソニーブランドのレンズ群
マウントはPL用



人気のF55
後ろについているのが
“専用”レコーダー
REDを真似てのモジュール型



形状はARRIのカメラ
にそっくりというもっぱ
らの評判(笑)

気になるであろうブース その2 ～CANON セミナーじゃんじゃん！ Cinema EOS押し

人気のセミナーはこんな感じ



cinemaEOSによって撮影される映画群



現役レンズもいっぱい

Day1 12/14 WED	Day2 12/15 THU	Day3 12/16 FRI
10:00 INTERVAL	10:00 INTERVAL	10:00 INTERVAL
10:30 ★アメイジング・グレイス ★ミッドウィンター・ソング ★リトル・ブレイク	10:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	10:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)
11:00 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	11:00 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	11:00 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)
11:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	11:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	11:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)
12:00 CINEMA EOS SYSTEM 新製品紹介 (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	12:00 CINEMA EOS SYSTEM 新製品紹介 (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	12:00 CINEMA EOS SYSTEM 新製品紹介 (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)
12:30 INTERVAL	12:30 INTERVAL	12:30 INTERVAL
13:00 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	13:00 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	13:00 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)
13:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	13:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	13:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)
14:00 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	14:00 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	14:00 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)
14:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	14:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	14:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)
15:00 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	15:00 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	15:00 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)
15:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	15:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	15:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)
16:00 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	16:00 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	16:00 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)
16:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	16:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	16:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)
17:00 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	17:00 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	17:00 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)
17:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	17:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)	17:30 映画『EOS C300 & ANCHOR 4K (映画「アメイジング・グレイス」撮影用)

三日間とも
10:00～17:00まで
ブースでの
セミナー予定ギッシリ

スタジオセットあり
写真にはないけど4Kシアターも裏にあり

気になる(かな?)ブース その3 ～NIKON

やっぱり僕は静止画メーカー！とにかくデジ動画で押すしかない



Nikonは“EOS movie”に対抗して
“D-Movie”と呼んでいる
ろうそくの炎だけで、暗所性能アピール



会場に持ち込まれていたのはD4とD800
モデル撮影ブース
基本的にはこのページ写真3枚のブース構成



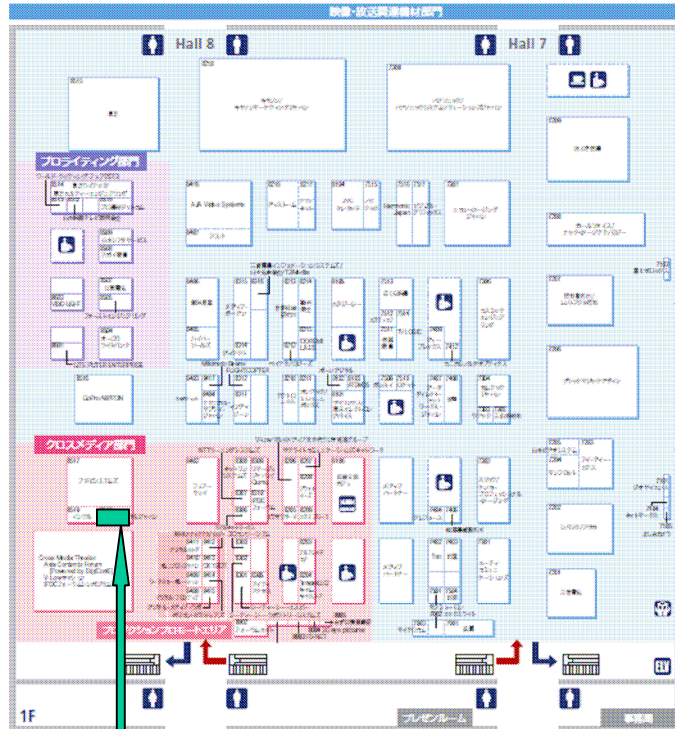
セミナー風景

NABでもそうだったが、
やはり動画系イベントではニコンは存在感薄い
この分野では(デジタル一眼レフ分野と異なり)まだ
キヤノンやその他のライバルではない空気
NABの時はレンズを前面にアピールしていたと
思ったが、今回interBeeではそうでもなかったような...

気になるであろうブース その4 ～RED

内弁慶RED

NABでは大きなブース構えるも、interBee(日本)とIBC(EU)では大人しい (←力を入れてない!?)



Adobeの後ろにひっそりとブース



ブースの感じはこんな風
鉄格子風に黒バックという空気感は常に統一



今回のソニーのF55及びF5の発表に合わせて値下げされたEpic
他に、最近シュールにも“Epicモノクローム”という、モノクロ専用機の発表も行って注目を集めていた

気になるであろうブース その5 ～ブラックマジックデザイン

本年NABでのシネマカメラ@¥30万(EFマウントモデル)に続き
IBCでマイクロフォーサーズマウントモデルも発表



マイクロフォーサーズマウントモデル



EFマウントモデル

さて、マイクロフォーサーズマウント
モデルとどこが違うでしょう？(笑)

バックオーダーを抱えまくりの人気の同カ
メラ

しかし、世界中で出荷されている数が
まだかなり少ない模様

初めてのカメラの量産に苦戦している！

その他 その1 ~raw&Log収録の流れ カラーグレーディングが熱い！



お金を掛けれる場合、グレーディングはこのトラックボールの様な専用のサーフェス(←コントローラー)によって行う

(別になくても効率が悪いだけで出来ない訳ではない)

ブラックマジックデザイン ブースより

↑ カラーグレーディングソフトのセミナーに人が集まっているの図 おねーちゃんが説明ばー読みだったことに受けた(笑)

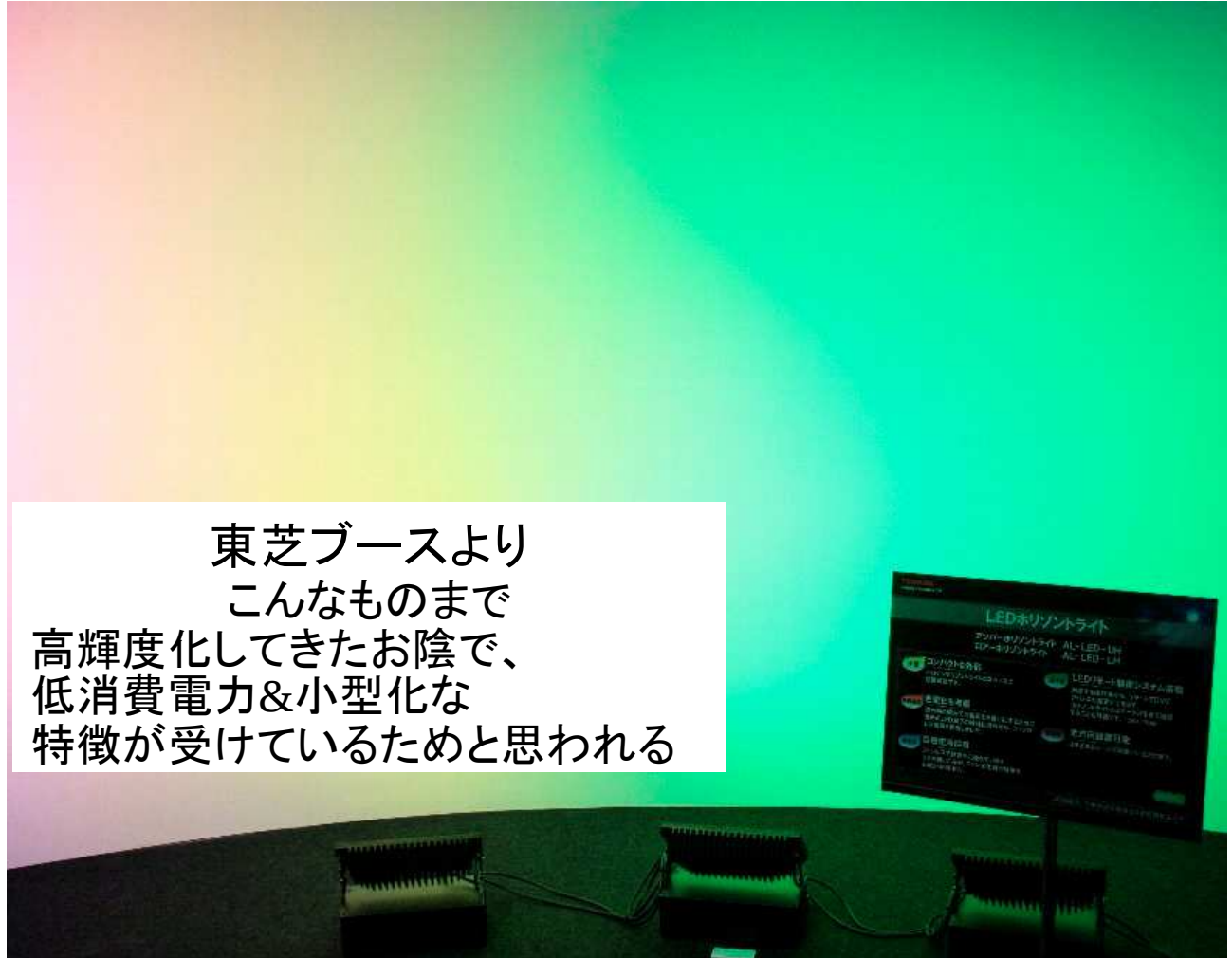
rawもしくはLogで収録すると、カラーグレーディング(←色調整)が必須となるため、今後、よりメジャーな存在になっていくことが予想される

業界で最も支持されているカラーグレーディングソフトと言っても過言ではないダヴィンチだが、機能制限版の“Lite”は何と“タダ”でダウンロード可能

その他 その2 ～ここにも時代の流れ LED照明がcool！



マンフロット ブースより
小型のデジーなど向け用



東芝ブースより
こんなものまで
高輝度化してきたお陰で、
低消費電力&小型化な
特徴が受けていると思われる

その他 その3 ～動画制作に必須！？

特機も熱い！ (最近特に日本製で安くて工夫に富んだ良いものが出て来た)



Libec(平和精機工業)ブースより
スウィフトジブ と リモートヘッド
三脚の上に上下回転可能なアームと
その先にカメラコントロール可能な
ヘッドが載っている



撮れる絵は例えばこんな感じ↓

静止画ならまだしも、動画ではこの絵は手持ちではまず撮れない



手元はこんな感じ⇒

パン / チルト / ズーム などの操作が
可能 他社からも多数特機の出展あり



その他 のその他 ～High speedも極まれり

4Kで900fps！(連続10秒弱)



FOR.Aと書いて“朋栄”(ほうえい)
実は日本の企業



4K900fps撮影可能な業務用カメラ
今回の目玉 “FT-ONE”

FULL 4K Super Slow Motion Theatre

フル4K スーパースローモーションシアター

この様に大々的に宣伝
シアター映像の内容は、基本的には
水しぶきが舞うタイプの映像が主

例えば、イルカが屋外水族館で芸を
して飛び込んだりしているシーンや、
水上スキーの水しぶきなど

やっぱこのレベルになると、
すぐに思いつくのは水しぶきしかなく
なる！？
(人の動きは300fps程度あれば十分)

A large, professional video camera setup on a tripod, featuring a large lens and various attachments. The camera is positioned in front of a backdrop that reads 'FULL 4K Super Slow Motion Theatre' and 'FOR INNOVATIONS and AUDIO TECH'.